

# 令和3年度 事業計画書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

当財団は、総合的な福祉事業を通して中小企業の振興発展に寄与するという財団設立の目的に沿って、中小企業で働く方々の充実感と安心感のある生活を側面から支えられるよう事業運営に努めてきた。

昨今のコロナ禍による社会・経済活動への影響が長期化する中、様々な変化に柔軟に対応しつつ、令和3年度も引き続き「公益財団法人」として適正な団体運営を行うとともに、公益認定基準に適合した退職金共済事業の運営と福利共済事業の充実を図る。

また、運営基盤となる会員数の拡大を目指し、新規事業所の加入促進と会員企業の満足度向上に引き続き取り組んでいく。

## 1 会員数、会員企業数の見込み

### (1) 会員数

令和2年度はコロナ禍の影響を受け、多くの中小企業にとって厳しい経営環境となった。加入会員数は、8期連続で1万人台を維持できるものの前年度実績および当初計画を下回る見込みとなった。一方、退会会員数は、前年度実績および当初計画を上回る見込みとなった。これにより令和2年度末会員数は、9期連続での純増達成となるが、純増数は前年度実績および当初計画を千人近く下回る見込みとなった。

令和3年度も前年度同様に厳しい経営環境が続くことが想定されるが、10期連続の会員数純増を目指し、年度末の会員数は前年度より200人増の86,700人を見込んだ。

#### 【会員数の推移】

(単位：人)

年 度	期首	加入	退会	期末	対前年増減
平成30年度	82,148	11,562	10,047	83,663	1,515
令和元年度	83,663	12,177	10,260	85,580	1,917
令和2年度(見込)	85,580	11,214	10,294	86,500	920
3年度(計画)	86,500	10,500	10,300	86,700	200

### (2) 会員企業数

令和2年度期末の会員企業数は、コロナ禍の影響により、前年度より78社減の8,750社と見込んでいる。

令和3年度も、前年度の傾向が継続し、加入および退会ともに厳しい状況となることを想定しているが、引き続き、福利共済事業のサービス拡充に注力するとともに、SNSなどを活用した情報発信を通じて当制度の魅力の周知に努め、期首会員企業数の維持を図る。

#### 【会員企業数の推移】

(単位：社)

年 度	期首	加入	退会	期末	対前年増減
平成30年度	8,827	381	348	8,860	33
令和元年度	8,860	331	363	8,828	△32
令和2年度(見込)	8,828	259	337	8,750	△78
3年度(計画)	8,750	-	-	8,750	0

## 2 特定退職金共済事業

中小企業勤労者の退職後の生活基盤安定のため、所得税法施行令第73条に基づく「特定退職金共済団体」として、公益目的事業である特定退職金共済事業を実施する。

今後も厳しい金利状況が続くと思われることから、金融・経済情勢および委託生命保険会社の経営状況等を注視し、最大の責務である積立金の安全かつ堅実な運用・管理に努める。

## 3 事業主年金等共済事業

法人の代表者と役員、および個人事業主等のための独自の共済制度として、事業主年金等共済事業を実施する。

今後も厳しい金利状況が続くものと見込まれることから、金融・経済情勢および委託生命保険会社の経営状況等を注視し、最大の責務である積立金の安全かつ堅実な運用・管理に努める。

## 4 福利共済事業

令和3年度はコロナ禍の影響を考慮し、感染状況により実施可否が左右されないよう形態を工夫した事業の推進に努めていく。その代表例が、「オンライン」形式での事業であり、新たな事業形態として適宜実施していきたい。

また、前年度から導入したローチケbiz+（ローチケビズプラス）については、さらなる利用促進を図るため、ローソンチケットで購入する際に一定額を補助する「ローソンチケット利用補助券」を今年度も発行する。

その他、様々な手法で利用促進を図ることにより、延べ利用者数については前年度より53,480人増の261,311人と見込んだ。

なお、福利共済事業の実施財源には、当該年度の福利会費合計額約619,779千円のうち、94%にあたる約582,592千円を見込んだ。

### 【延べ利用者数】

(単位：人)

令和3年度 (予算見込)	令和2年度 (決算見込)	増減
261,311	207,831	53,480

※ 参考：令和2年度予算 406,603人

(1) 余暇活動支援事業

会員が家族と充実した余暇を過ごすことにより、心身のリフレッシュを図り心豊かな生活を送れるよう、次に掲げる事業を実施する。

区分	事業名	令和3年度 参加見込数
自主事業	【演芸会・コンサート等】 年忘れ演芸会 ニューイヤークラシックコンサート 親子映画鑑賞	1,400人 2,000人 2,000人
	【レクリエーション】 親子レクリエーション レクバス（ルスツ、グリーンランド、デイズニランド利用券含む） 写真教室 親子ひこうき見学会	80人 6,150人 60人 40人
	小計	11,730人
助成事業	【旅行・施設利用等】 JTBベネフィット委託事業（国内旅行・海外旅行・ 宿泊施設） 円山動物園他道内72ヵ所のレク・娯楽施設入園 スポーツ観戦（コンバトール・ファイターズ・レバンガ） 映画館入場（ローチケbiz+ 以外） 観劇・音楽会・美術展入場 音楽定期会員等 ローチケbiz+ ※約90%が映画鑑賞券等の購入利用と想定	750人 118,680人 1,960人 1,450人 8,620人 60人 20,000人
	小計	151,520人

(2) 健康維持管理増進支援事業

予防のための健康診断をはじめ、健康維持・増進のための各種事業、施設の利用を促進する事業を実施する。

ア 健康管理

一般より低廉な費用で健康診断を受けられるよう、市内27ヵ所の医療機関と助成契約を締結し、健診料の一部を会員に助成する。人間ドック健診は、会員料金のほかに割安の家族料金を設けている。

区分	事業名	令和3年度 参加見込数
助成事業	定期健康診断 人間ドック（1泊2日・日帰り・パブリック） 部位ドック（心臓、脳、大動脈・血管） がん検診（大腸、肺、乳・子宮、PET） インフルエンザ予防接種・健康度測定健診	13,000人 1,520人 6,878人
	小計	21,398人

## イ 健康増進

自主事業のうち、例年実施していた各種スポーツ教室（こどもかけっこ教室、こどもバスケットボール教室等）については、コロナ禍の影響を考慮し、今年度は中止とした。今後も、会員と家族の健康づくりを積極的に支援するため、コロナ禍の下でも実施が可能となるような開催形態を模索しつつ、可能な限り進めていきたい。

また、助成事業として、一般より低廉な料金で市内外のスポーツ施設・健康施設が利用できるよう、料金の一部を助成する。

区 分	事 業 名	令和3年度 参加見込数
自主事業	【スポーツ大会】	
	パークゴルフスタンプラリー（大会は中止）	200人
	ゴルフ大会	100人
	エントリー式ボウリング大会	150人
	【新規事業】	
	オンラインセミナー（コナミスポーツセミナー）	250人
	小 計	700人
助成事業	スキーリフト・スキーランチパック	15,830人
	スケートリンク入場	170人
	スキースクール	50人
	スポーツクラブ利用	17,400人
	プール利用	2,450人
	市営体育館等利用	11,160人
	ボウリング場利用	3,320人
	ゴルフ場利用	160人
	パークゴルフ場利用	3,630人
	スポーツ奨励等	30人
		小 計

### (3) 自己啓発及び研修・表彰支援事業

企業や団体の発展に貢献した事業主および会員に対し、社業発展や職務精励などの功績を称え記念品を贈呈し、勤労意欲の向上と企業の発展を支援する。また、会員と家族の自己啓発・研鑽のためのセミナー・講座等の受講料の一部を助成する。

なお、今年度からは、集合型の講座等だけではなく、オンライン学習講座の充実を図る。

区 分	事 業 名	令和3年度 参加見込数
自主事業	勤続(経営従事)功労者記念品贈呈(30年・40年)	380人
助成事業	経営等セミナー	250人
	生涯学習講座	200人
	手工芸講習会	30人
	オンライン学習講座	330人
	小 計	810人

(4) 生活安定支援事業

ア 融資あっせん事業

令和2年度から新規受付を中止しており、既存融資済案件が全て完済された時点で当該事業を廃止する予定である（令和6年度を予定）。

イ 割引指定店事業

令和3年度も引き続き「えらべる倶楽部ライフ」を提供し、会員証提示等により全国約62,000件以上のメニュー（ショッピング、レジャー、日帰り温泉など）で様々な特典を受けられるサービスを提供していく。

(5) 慶弔金贈呈事業

会員と家族の慶弔に際し、次の10項目の慶弔金贈呈事業を実施する。

項 目	金 額（1件）	令和3年度 贈呈見込数
①成人祝金	5,000円	160件
②結婚祝金	加入年数3年未満 20,000円 加入年数3年以上 30,000円	680件 710件
③出産祝金	20,000円	1,720件
④入学祝金	10,000円	4,210件
⑤永年勤続慰労金	勤続5年 5,000円 勤続10年 10,000円 勤続15年 15,000円 勤続20年 20,000円	3,400件 2,230件 1,540件 1,170件
⑥還暦祝金	10,000円	1,370件
⑦銀婚・金婚祝金	銀婚 20,000円 金婚 30,000円	680件 80件
⑧傷病見舞金	20,000円	720件
⑨災害見舞金	10,000円 30,000円 50,000円	15件 5件 3件
⑩死亡弔慰金	会員 50,000円 会員の配偶者・子（養子を含む） 30,000円 会員の実父母（養父母を含む） 20,000円 会員と同居の配偶者の実父 母（養父母を含む）・死産 10,000円	100件 100件 1,600件 80件
合 計		20,573件

(6) 加入促進活動及び情報提供事業

スケールメリットを生かした充実の福利制度と、安全・堅実な退職金制度のPRを多様な媒体により継続的に行い、未加入の中小企業への加入促進活動を展開する。さらに、既存会員等に対し未加入企業の紹介を広く依頼し、会員数の維持拡大を図る。

項目	内 容
加入促進活動	① フォロー活動に重点をおいたダイレクトメール送付の実施 ② 既加入企業からの未加入企業紹介依頼の実施 ③ 税理士、社労士の関与先企業の紹介依頼の実施 ④ 金融機関とのビジネスマッチングの実施 ⑤ 経営者に向けた各種セミナーの実施 ⑥ 認知拡大を目指したWEB広告の実施 ⑦ 会員目線に立った新たな加入促進活動の実施
情報提供事業	① SNS (LINE、Twitter) およびメルマガを活用した情報配信 ② 制度説明および加入申込書類の動画配信 ③ 制度パンフレット、リーフレット、ちらしの配布 ④ 会報誌「さぼさぼ」(年5回) およびガイドブック「さぼガイド」の発行(年1回) ⑤ ホームページによる情報提供 ⑥ 会員アンケート調査の実施

5 その他

会員情報の管理や利用券の発行等に使用している基幹系システムについて、導入から約40年が経過していることから、会員サービス向上および業務効率化を図るべく刷新を検討する。令和7年度の稼働を目指し、今年度は現状調査および計画策定を実施する。

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
調査・計画策定	仕様検討	プログラム開発		システム稼働

※ 計画は変更の可能性あり。

6 参考(当財団の事業体系)

区分	事業名
公益目的事業	特定退職金共済事業
その他の事業 (相互扶助等事業)	事業主年金等共済事業
	福利共済事業 (1) 余暇活動支援事業 (2) 健康維持管理増進支援事業 (3) 自己啓発及び研修・表彰支援事業 (4) 生活安定支援事業 (5) 慶弔金贈呈事業 (6) 加入促進活動及び情報提供事業